

環境経済論

担当者 鎌苅 宏司

開講時期 前期

単位 2

●講義の概要

この講義では、財と廃棄物の取引市場の違いを踏まえて、廃棄物の再資源化など廃棄物処理に関する制度設計のあり方を、経済学の観点から解説します。

●講義の到達目標

バッズという廃棄物に関する経済学のとらえ方を理解することで、わが国の廃棄物処理の現状と課題を考えることができます。

●講義計画

テキストの章ごとに、その内容を解説します。その際、毎回の教材を事前にmanabaに載せておきますので、目を通しておいてください。また、講義時に参考文献も適宜解説します。

- 第1回 グッズの世界、バッズの世界
- 第2回 動脈産業と静脈産業
- 第3回 バッズとゼロエミッション
- 第4回 安定した市場リサイクルの条件
- 第5回 逆選択とパートナーシップ
- 第6回 PPP(汚染者支払原則)と費用負担
- 第7回 前半の講義内容の理解を確かめる
- 第8回 環境保全のトレードオフ
- 第9回 バッズのマクロ経済学
- 第10回 環境制約と経済成長
- 第11回 バッズの管理システム
- 第12回 後半の講義内容の理解を確かめる
- 第13回 廃プラスチックの処理と資源循環ビジネス
- 第14回 循環経済における拡大生産者責任の果たす役割
- 第15回 経済学からみた廃棄物不適正処理問題

●成績評価基準と方法

成績評価の基準は、講義内容の理解を問うものであり、具体的にはレポート課題によります。昨年度のレポート課題は、拡大生産者責任に関するこれまでの議論をまとめたものでした。

●テキスト又は参考文献

テキストは細田衛士著『グッズとバッズの経済学（第2版）』東洋経済新報社、2012年。参考文献は細田衛士著『資源の循環利用とはなにか』岩波書店、2015年、細田衛士著『資源循環型社会』慶應義塾大学出版会、2008年、細田衛士・大沼あゆみ編著『環境経済学の政策デザイン』慶應義塾大学出版会、2019年、『環境情報科学』48-3号、2019年他。

●受講上の留意点

テキストは、できるだけ数式を用いない文献で、経済学の考え方を解説しているものを選んでいます。講義までに予習と復習をしておいてください。